

伊賀市 事務事業評価シート

一般事務

	コード	名 称		コード	名 称
事業名	295.1	生活保護市単独給付	会計	01	一般会計
基本施策	7	老後の生活や低所得者の自立を支える	款	03	民生費
			項	01	社会福祉費
			目	02	民生事業活動費
担当部課名	厚生保護課		細目	101	民生事業活動経費
作成者氏名	今高 光芳	連絡先	細々目	02	生活保護世帯扶助費等経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	生活保護世帯	生活保護世帯に対して、見舞金等を給付をして自立助長を目指す。
本年度事業内容	・生活保護世帯に見舞金等の支給をする。 夏の見舞金、年末の見舞金、小中学校入学準備金、し尿汲取料補助金	
根拠法令・要綱等	伊賀市健康福祉部関係補助金等交付要綱	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
	人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)	事業費(B)	10,955	10,661	5,686
	委託料			
	見舞金	9,710	9,276	4,616
	し尿	1,029	975	870
	小中入学準備	216	410	200
合計(A+B)		12,395	12,101	7,126
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
一般財源		12,395	12,101	7,126
上記①～③に関する特記事項				
20年度に廃止予定				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
見舞金	延世帯	1389	1500	1600			
し尿	人	490	530	580			

情勢の変化及び事業の改善点等

市単独事業であり、補助金の削減計画の中で、本事業も削減を迫られている。
 県下他市の状況でも、廃止をしたところ、廃止を検討するところが多い。
 従来特別な需用に対応した事業であったが、最低生活費は一般世帯の生活費の70%の水準を維持しており、補正性の意義は薄れている。

評価	達成度	3	保護費の基準が低く補正する要素もあったが、現在では、保護基準改正も繰り返され、その要素は薄れている。 支給額の減額、廃止を検討する。
	効率性	2	